

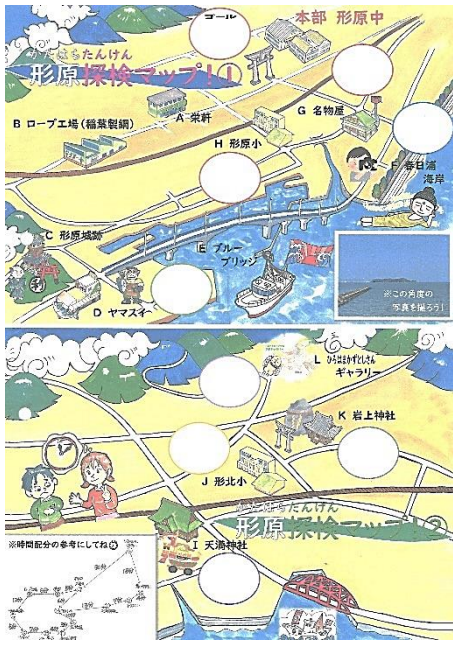
ふるさとを愛する人
は人



～ふるさと形原を愛する形中生～

新企画 形原ウォークラリー

【形原探検マップ】



本校では、「ふるさとを愛し、知・徳・体の調和のとれた生徒を育てる」という教育目標をめざして、授業に地域の歴史や文化、産業や自然など、ふるさとの魅力を積極的に取り入れています。その一環として、今年度から中1を対象に、地域の名所を巡る「形原ウォークラリー」を実施することにしました。地域のひとやものと触れ合う中で、形原の良さに気づき、形原の町をもっと知りたいという気持ちを高めることと、2つの小学校から集まった仲間の絆を深めることが目的です。

5/16(火)、生徒たちは形小と形北小の混合24チームに分かれ、12カ所の形原の名所を巡り、さまざまな体験を楽しみました。生徒たちの感想から、形原の魅力や人の優しさを再発見したという声をたくさん聞くことができました。

この授業を実施するにあたり、ヤマスイさんから生徒1人1人にメヒカリの唐揚げとお茶をいただきました。また、名物屋さんは定休日なのに店を開けていただけました。ひろはまかずとしギャラリーさんからは氷をいただきました。また、地域住民の方14名が、チェックポイントのボランティアとして協力していただけました。本当にたくさんの地域の方から助けていただきました。ありがとうございました。

【形原の名所12カ所(指令)】

- A 栄軒(写真を撮る)
- B 稲葉製網ロープ工場(写真を撮る)
- C 形原城跡(お妙塚見学)
- D ヤマスイ(メヒカリ唐揚げ試食)
- E ブルーブリッジ(写真を撮る)
- F 春日浦海岸(寝観音像見学)
- G 名物屋(せんべい試食)
- H 形原小(二宮金次郎像見学)
- I 天満神社(エーン曳きの船見学)
- J 形北小(形北の森見学)
- K 岩上神社(大岩石見学)
- L ひろはまかずとしギャラリー(見学)



ヤマスイの
メヒカリ最高!



名物屋のせんべいも
美味しいよ!



寝観音の前でジャンプ！



稲葉製綱さんのロープづくりを見学！



形原小の名物2体の二宮金次郎像

形原ウォークラリーを終えて ～生徒の感想～

★形原を知っているようで実は知らなくて、今日、形原を知ることができました。形原の方やボランティアの方々は、私たちに優しくしてくださいました。形原には、たくさん良い所がありました。つかれたなーと思う時もあったけど、5人で乗り越えられました。つかれたというよりも楽しさの方が何倍も多くて、ウォークラリーをできて本当によかったです。5人で一心同体し、形原の良さを見つけなかに深め笑顔で帰ってこれて良かったです。【M・I】

★形原のよいところは、建物も良いと思いますが、やっぱり一番は、仲間やボランティア活動を協力してくれた方、形原の人たちかなあとと思います。通りかかった人に、「おはようございます！」と言うと、「おはよう」と返してくれたり、ボランティアの人は、「頑張ってるね！」と言ってくれたりして、形原の人たちは優しいなと思いました。【M・K】

★前から思っていたけど、形原は自然豊かで、海もあり、とてもいいところだと思います。形北地域は知っていても、形小の地域のことをあんまり知らなくて、今日知れたので形原のいいところの範囲が何倍にもなったので、ウォークラリーがあってよかったです。【S・I】

★この形原には、絶景がたくさんあってすごく自然が豊かなまちだなと思いました。地域の人たちが、すごく優しい人がたくさんいるあたたかい町だとすごく思いました。形原ウォークラリーでいろんな発見があって、いろんなところに行けてよかったです。形原ウォークラリーで、たくさんの発見ができたし、いいところがたくさん知れてよかったです。【Y・I】



ブルーブリッジからの素晴らしい眺め



天神さんの船「天神丸」

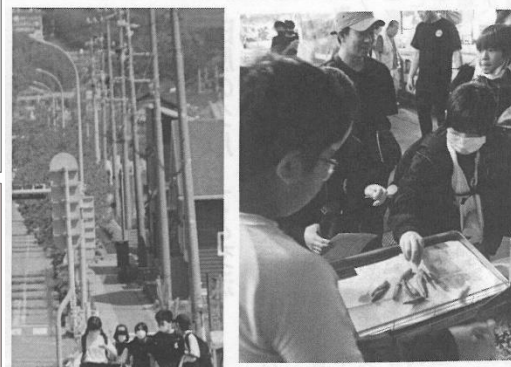
町の歴史、産業、自然巡る

形中1年生がウォークラリー

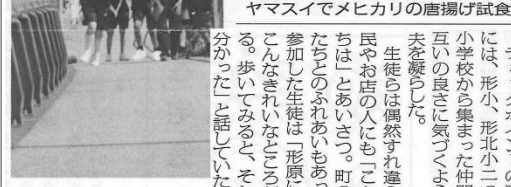


春日浦、寝観音(寝釈迦とも)がよく見える

形原中学校一年生百十九人が土日、町内の歴史・文化、産業、自然巡りにかかわる十二カ所のチェックポイントを巡るウォークラリーに挑んだ。同校では学校目標「ふるさとを愛し、知・徳・体の調和のとれた生徒を育てる」を掲げ、ふるさとの魅力を学ぶ授業を採り入れている。ウォークラリーもその一つ。地域学校協働活動推進委員は、地域の住民ららせて十四人がボランティアとして協力。チェックポイントスタンプを押したり、人数確認を行った。



ヤマスイでメヒカリの唐揚げ試食



ブルーブリッジ



発行所
蒲郡新聞社
蒲郡市旭町9番地9
〒443-0045
電話・FAX(0533)68-2684

自転車利用者
ヘルメット
着用

ウォークラリーには一宮次郎像(見学)、土崎神社(ループ五ヶ所)、二十四ヶ所が参加。町内に設けたチェックポイントで、それぞれ写真を撮影するなどのミッションをクリアしながら、町内を巡った。

十二カ所のチェックポイントには、A米軒B稲葉製綱C工場D形原城跡(お妙家見学)、Eヤマスイ、Fブルーブリッジ、G春日浦海岸(大島・小島の寝観音見学)、H名物屋、I形原小(二宮金次郎像見学)。

ヤマスイでは職場体験していた二年生男子生徒が対応。揚げたてのメヒカリの唐揚げを振舞ったり、「おいし」の成分がサンマの二倍もあると、訪れた二年生に説明していた。名物屋でも、せんべいを配った。

チェックポイントの選定には、形小、形北小二つの小学校から集まった仲間が互いの良さに気づくよう工夫を凝らした。

生徒らは偶然すれ違う住民やお店の人にも「こんにちは」とあいさつ。町の人たちのふれあいもあった。

参加した生徒は「形原にもこんなきれいなところがある。歩いてみると、それが分かった」と話していた。